



国民春闘共闘

第43号

2018年5月28日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館

☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

18春闘・第7回賃上げ集計

単純平均 5,479 円・1.94%、加重平均 6,139 円・2.07%

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は25日、第7回目の賃金改定集計を行い、22単産・部会から報告が寄せられました

<回答状況>

	2018年	2017年（同期）
登録組合数	818	823
回答引き出し組合数	467 (57.1%)	491 (59.7%)
うち金額・率の回答	328	342
うち「定昇確保」など言葉による回答	139	127
うち上積み獲得	86 (18.4%)	88 (17.9%)
うち妥結組合数	170 (36.4%)	171 (34.8%)

<回答内容>

集計方法&対象		2018年	2017年（同期）	（同期比）
単純平均	額（円）	5,479	5,289	+190
	率（%）	1.94	1.99	-0.05
加重平均	額（円）	6,139	5,815	+324
	率（%）	2.07	2.04	+0.03
	組合員数	80,812	76,382	

<前年実績との比較が可能な組合における回答状況（金額での比較）>

前年比較可能な組合数	うち前年実績以上	（前年超）	（同 額）
299	185 (61.9%)	139	46

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	金額・率	前年実績	（前年比）
単純平均	額（円）	299	5,502	5,438	+64
	率（%）	205	2.02	2.01	+0.01

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※「定昇確保」など言葉による回答は計算から除いています。

＜集計結果の概要＞

回答引出し・妥結状況

5月25日の第7回集計には、別表の22単産・部会から報告が寄せられました。

登録818組合のうち、回答を引き出したのは467組合・57.1%です。467組合のうち、「定昇確保」などの言葉による回答を得た組合が139組合で、金額・率などが明らかになっている有額回答を得た組合は328組合となっています。13組合が4次回答以上の回答を引き出すなど、回答引出し組合の18.4%にあたる86組合が2次回答以上の上積み回答を引き出しています。また、170組合が妥結となっています。(妥結率36.4%)。回答引き出し状況は前年同期(2017年5月26日)を実数・率ともに若干下回っています。

回答内容

有額回答を引き出した22単産・部会467組合での単純平均(一組合あたりの平均)は5,479円・1.94%で、前年同期比190円増・0.05%増減となっています。加重平均(組員一人あたりの平均)は6,139円・2.04%で、前年同期比324円・0.03%増となつています(額のみ・率のみの回答の組合があるため額・率は連動せず)。

全農協労連(2)、JMITU(5)、建交労・運輸(1)、民放労連(3)、出版労連(9)、映演労連(2)、地方マスコミ(1)の23組合で1万円を超える大幅引き上げの回答を引き出している一方で、定昇確保にとどまっている組合も少なくありません。

組合規模別の回答状況では、30~99人以下の小規模組合、1000人以上の大規模組合で、2.00%以上の引き上げ率となっています。

単産・部会別の回答状況を見ると、単純平均では前年同期比で全農協労連、JMITU、全国一般製造、全国一般、映演労連がやや好調な回答状況となっているものの、建設関連労連、建交労・製造、建交労・鉄道などが前年実績を下回る苦戦となつており、全体としては厳しい状況となっています。

同一組合での対比が可能な299組合の単純平均額の結果を前年実績と比べると、今期は5,502円で、前年実績を64円上回っています。また、61.9%にあたる185組合が前年実績以上の回答を引き出し(うち139組合で前年実績超)ています。率では205組合の比較で、2.02%で前年実績を0.01%上回っています。

非正規で働くなかまの賃上げ状況・最賃協定など

非正規で働く仲間の賃上げ状況については、全農協労連、建交労、JMITU、化学一般労連、生協労連、全労連・全国一般、全印総連、出版労連、民放労連、日本医労連、地方マスコミの11単産226組合から365件の成果獲得の報告が寄せられています。獲得組合数、総獲得件数とも前年実績を超えており、非正規で働くなかまの待遇改善に向けての各組合の努力が広がっています。

時給制労働者では、引上げ額で145件の平均で22.8円と前年実績(19.7円)から3.1円増となっています。率では、40件平均で2.14%の引き上げで前年実績の0.98%を大きく上回っています。こうした中、民放労連の組合で70円、8.24%の引き上げ、民放労連の別の組合でも50円、6.25%の引き上げ、生協労連の組合で、50円、6.67%、同じく生協労連ユーコープ労組では、35円・(3.65%~4.17%)の引き上げ回答を勝ち取るなどの成果も出ています。

月給制労働者では、引き上げ額の報告のあった 38 件の単純平均で 2,675 円、率では 11 件の単純平均で 1.46%となっています。

再雇用者の処遇改善では、JMITU の組合で月額 22,500 円の賃上げ回答を引き出しなどの報告をはじめ 38 件（時給制・月給制計）の成果報告が寄せられています。

企業内最賃協定の獲得状況について、JMITU、化学一般労連、生協労連、全印総連、民放労連、出版労連、映演労連、日本医労連の 8 単産 91 組合から 244 件の獲得報告が寄せられています。化学一般労連、生協労連、出版労連、映演労連、日本医労連では、昨年報告数を超えての報告となっています。また、新協定額の報告のあった単純平均は、時間額は 979 円（97 件）、日額の単純平均 7,901 円（34 件）、月額の単純平均 171,121 円（46 件）となっています。

安倍 9 条改憲・労働法制改悪 NO !
賃上げと安定雇用で地域活性化 !